

(様式3)

令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

雲浜小学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

- 地域コーディネーター 2名
雲浜公民館長、雲浜地区老人会会長
- 雲浜地区老人会 会長1名
- 雲浜公民館 館長1名
- 雲浜地区区長会 会長1名
- PTA 会長・他 2名
- 保小連携担当 園長 1名
- 民生児童委員 1名
- 主任児童委員 1名
- 雲浜小学校 3名

(2) 協議会の内容

- ※開催回数 2回(3月は中止)
- ※開催日程 5月 11月
- ※協議内容
 - 第1回
学校経営方針説明 学校評価計画検討
 - 第2回
児童の活動の様子 学校評価中間報告

(3) 協議会における成果と課題

協議会においては、主に学校からの説明や報告、情報交換に時間を割いた。2回目の協議会では、体育大会や授業研究会など、実際に子どもたちの活動の様子を見られ、学校の目指している児童が育っていることに高評価をいただいた。また、学校評価の結果をもとに、保護者に対する意識付けなど、アドバイスをいただけたことが大きな収穫であった。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

- ・体験活動等を通して自分なりに課題解決に向けて取り組むことで、ふるさとに対する理解を深め、誇りや愛着を持たせる
- ・鯖街道を実際に歩いたり、調べたりすることを通して、鯖街道の歴史を知り、小浜の良さや小浜を誇りに思う気持ちを育て、小浜の活性化のための活動につなげる。

(2) 活動の実際

① 勤労生産体験学習(3年生)

3年生は、地域の方をゲストティーチャーとして招き、大根作りをする際の畑の土作りや種の植え方、手入れの仕方などを学んだ。収穫は地区の老人会の方と一緒に収穫を行い、交流を深めた。収穫後は販売に向けて準備を進め、販売会のチラシを保護者に配付、当日は販売店の店員としてたくさんの大根を売ることができた。



② 鯖街道歴史学習(5年生)

5年生は、次年度に行う鯖街道踏破体験学習に向けて調べ学習を中心に行った。鯖街道の起点であるいずみ町から登山道の入り口である上根来までの18kmを、途中で説明を聞く活動を入れながら歩いたり、鯖の養殖場へ見学に行き、鯖のえさやり体験を行ったりした。また、地域の方にお世話になり、鯖のへしこに関する学習を行った。児童は、鯖を長持ちさせるためのいろいろな工夫や、昔の人々が苦勞して鯖を届けていたことを実感していたようである。

(様式3)



③ 鯖街道踏破体験学習（6年生）

6年生は5月に鯖街道登山口から京都市花脊峠鯖街道踏破体験学習を行った。

5月22日（水）には、鯖街道登山口から滋賀県朽木西小学校までの約21kmを歩き通した。
5月29日（水）には、滋賀県オグロ坂から京都市の花脊峠までの約17kmを歩いた。花脊峠からはマイクロバスを使って、終点の出町枡形商店街に到着をした。

この学習の際には、鯖街道に関するお話をコーディネーターの方からお聞きした。



（3）地域コーディネーターの活動概要

3年生では、主に老人会の方々にお世話になり、大根作りのための畑作りから収穫まで指導していただいた。実際に子どもたちと活動していただけたことで手順もよく分かった。

5年生では、来年度の鯖街道踏破体験学習に向けて歴史について学習した。山の会の方にゲストティーチャーとして来ていただき話が聞けたことで、子どもたちの意欲が高まった。

6年生では、山の会の方の指導のもと、一緒に京都までの鯖街道を歩ききることができた。途中、歴史について話を聞きながら歩いたことで鯖街道についての知識・興味が深まった。

（4）特に工夫した事項

- 3年生は、土作りから販売までを地域の方々と連携して活動を行ったことで、地域の方々への感謝の気持ちを一層強めることができた。
- 5年生の鯖街道歴史学習、6年生の鯖街道踏破体験学習のすべての活動で市のマイクロバスを借り、経費の節約を図った。
- 鯖街道体験学習は行程を分けて行ったが、活動の振り返りを行うことができ、次の学習に活かすことができた。活動後は、全校集会で発表会を持つなど、学習の振り返り、総括、発信ができるように工夫した。

（5）成果と課題

- 3年生は、普段体験することが少ない野菜作りを行った。土作りから始まり、水やりや草取り、収穫・販売までを自分たちの手で行ったことで、自分たちが食べている野菜が苦労して作られていることが実感できた。
- 5年生は、1学期から「鯖街道の歴史」について学習を深めてきた。鯖街道について調べるだけでなく、へしこに関する学習や養殖鯖のえさやり体験などを行ったことで、鯖についてのいろいろな知識を得ることができた。これらの活動は来年の鯖街道踏破体験学習への意識付けに効果的であった。
- 6年生の鯖街道体験学習は、全員踏破することができ、児童も大きな達成感を感じることができた。先人の苦労や若狭の食文化の素晴らしさも感じることもできた。
- 今回のような体験学習は、地域コーディネーターをはじめとして、たくさんの方の協力や理解が不可欠である。今後も連絡を密にし、協議を重ねながらよりよい活動を行っていきたい。